

令和3年度本連盟公認資格認定制度地方委員資格の取扱いについて

標記のこと、令和3年度の地方委員資格の「更新」及び「新規認定」については、新型コロナウイルス感染症拡大により、全国において従来通りの講習会の実施は難しい状況であり、このような状況を踏まえ、今年度は、課題レポートの提出により対応いたします。

課題レポートの提出に際しましては、「令和3年度中央委員資料」の本連盟指針を参考にご覧ください。

記

1. 更新・新規認定に関わるレポート課題

次の(1)～(3)の全ての課題について、所定の様式にて提出ください。(ワープロ可)

(1) 地方委員としての心構えについて

本連盟の地方委員（審査委員・講師・審判委員）として、審査会・講習会・競技会に臨むにあたり、自身のあるべき姿勢や心構えについてどう考えていますか。

(2) 公益法人としてのあり方について

公益法人として、全日本弓道連盟が担う社会的な意義と役割についてどう考えていますか。

(3) 自然環境保護の観点から見た矢羽問題について／課題と考え方について

指導的な立場にある者として、矢羽問題について、全日本弓道連盟として、あなた自身として、どのように取り組んでいくことが重要と考えていますか。

加えて猛禽類の矢羽の取扱いについて、自然環境保護の観点からどうすべきと考えていますか。